

中村高校だより

第250号

愛知県立中村高等学校PTA
名古屋市中村区菊水町1-2-18
TEL 052-411-7760



最初のひらめきが良くなければ

PTA会長 鈴木 規夫

卒業生の皆さん、おめでとうございます。これから未来を築きあげていく皆さんに、発明王エジソンの言葉を紹介したいと思います。

「最初のひらめきが良くなければ、いくら努力してもダメだ。ただ努力だけという人は、エネルギーを無駄にしているにすぎない。」

人一倍努力しているのに報われないと嘆いている人は、世の中にたくさんいます。「努力は必ず報われる」と言われますが、正しくは、「報われる努力をすれば必ず報われる」です。つまり、努力にも報われる努力と報われない努力があるのです。「最初のひらめき」、発想、あるいは方向性が間違っているとダメなのです。

ビジネスでよく使われるこんな話があります。靴を履く習慣のない国で、靴が売れるか調査するように命じられた2人がいました。1人は「ここでは誰も靴を履いていません、靴を売ることは無理です」と報告しました。もう1人は、「ここでは誰も靴を履いていません、今なら市場を独占できます」と報告しました。

同じ状況でも、2人の発想は逆です。前者は、この国で靴を売る可能性を0にします。後者では、可能性を無限に拡げます。最初のひらめき、発想によって、この後の努力による結果が全く違ってきます。もちろん、売ることに決めた後も、どのような努力をするかというひらめき、発想がまた大事です。ただ努力だけでは、エネルギーを無駄にするにすぎません。

人生には、「無理だ」ではなく「チャンスだ」の発想が大事です。そしてそれをどうしたら実現できるかと自らの頭で考えた上で努力してください。そうすることで、皆さんの未来は、明るく楽しく素晴らしいものになるでしょう。

「明日」の皆さんへ～「校長室だより」～

校長 小菅 順一

第62回卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは、本校に赴任し最初に入学者許可した学年で、その皆さんに卒業証書を授与できることをうれしく思います。皆さんの3年間は、自分の3年間と重なります。

皆さんの真剣な姿を伝えようと始めた「校長室だより」も800号に近づいています。

最初は「今」の皆さんを伝えようとした「校長室だより」ですが、ある時「明日」の皆さんへのメッセージでもあることに気がきました。これから生きていくなかで、様々な困難が待ち受けていることでしょう。そうした時、この「校長室だより」を見てください。高校時代の自分たちが、「明日」を見つめて、真剣に取り組んでいる姿を見つけると思います。「明日」を見つめることが、「今」の苦しさを乗り越える力になります。「校長室だより」が、「明日」の皆さんの支えになることを願っています。

保護者の皆様、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。また、学校の教育活動を積極的にご支援いただきありがとうございました。これから本校がお子

様の「母校」になります。「母校」のますますの発展を、「応援団」として末永く見守ってくださるようお願い申し上げます。

第1号 吹奏楽部 吹奏楽コンクール名古屋地区大会出場

平成26年7月23日(水)、吹奏楽コンクール名古屋地区大会が、日本特殊陶業市民会館で行われました。本校吹奏楽部は、自由曲で「奇しく交響組曲「夜」」を演奏しましたが、重量感のある曲調により演奏に、思わず息が止まりました。新曲は平日という点に苦い面ですが、確実に進化していると感じています。この大会まで出場した10名の3年生に感謝します。





感謝

3年1組 担任 中島 奨悟

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。私は皆とはたった1年間しか関わることはできませんでしたが、この1年間でとてもたくさんのものを与えてもらいました。素直で、純粋なあなたたちと過ごす中で、たくさん笑わせてもらいました。間違っただけをしたときは本音で叱らせてもらいました。そうして過ごした1年は本当にあっという間で、正直とても寂しいです。ただ、振り返ってみて思い出すあなたたちとの出来事はとてもキラキラしていて、そんな思い出をくれた皆が、これから自分の目標を叶えるために、それぞれの進路に進んでいくことが、とても楽しみだという気持ちの方が、ずっとずっと大きいです。これからの皆の活躍に期待しています。最後に私の一番大切にしている言葉を皆に送って、皆へのメッセージとします。

あなたが生まれたとき、周りは笑い、あなたは泣いていたでしょう。だからあなたが去るときは、あなたが笑い、周りが泣いているような人生を送りなさい。

いつかきっと 思い出すから

3年2組 担任 松野 聖史

いつかきっと 思い出す
つらかった あの日々のことを
毎日毎日 努力しつづけて
やりぬいたときの あの感動を

高く乗り越えられない壁が 立ちのびだかつて
あしたの自分が 見えなくなってしまうとき
きっとそのとき 思い出した自分自身が
きみに みなぎる自信を与えてくれる

いつかきっと 思い出すよ
死にものぐるいで 頑張れたことを
ただひたすらに がむしゃらに
脇目も振らずに やったことを

いつかきっと 思い出すから
今はとにかく 一生懸命に
きらいなことこそ あきらめることなく
なにがなんでも やりとげてください

卒業生のみんなへ

3年3組 担任 小出 孝明

自分が高校生だった頃は、毎日、将棋部の活動が楽しみで、みんなで過ごす学校生活が楽しくて、思い出もたくさんできました。ただ、進学した大学には将棋部がありませんでした。学生生活が楽しめるのかどうか、不安に思いつつも、「プログラミングで作品を作る」「資格を取る」「高校の先生になる」「彼女を作ってリア充生活」という目標を立てて努力し、自分なりに満足のいく4年間にできました。4つのうち、3つ叶えば上出来でしょ？ 高校時代の親友が通っていた大学の将棋合宿に一緒に参加したのも、忘れられない思い出になりました。

これからの人生は、きっと今までとはガラッと変わります。だからこそ、自分で考えて、努力して、行動して、後悔のないように。あとは、中村高校の仲間達と一緒に過ごした思い出を大切に。みんなが卒業してからも、心の中で応援し続けたいと思います。3年間、ありがとう。ご卒業おめでとうございます。

夢中になれるものは

3年4組 担任 前田 恭兵

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとは3年間ともに進級してきました。102、208、304と担任させてもらい、皆さんの成長を間近で見届けることができたことを幸せに思います。最後に皆さんに送るメッセージはとても悩みましたが、入学当初に102の皆さんに伝えたことを再び伝えたいと思います。

それは、何かひとつ夢中になれるものを見つけてください、ということです。勉強、部活、行事と何でもいいからひとつ見つけようとしてください。それができた人は成功も失敗も含めてよい思い出となり、楽しく学校生活を送ることができ、とても立派な大人に近づいていると思います。ぜひ、進路先の新しい環境でも夢中になれるものを探してみてください。怯えて縮こまることなく、堂々と好奇心を持っているものに飛び込んでみて下さい。その姿勢があればきっとどこでも楽しく成長していけるはず。応援しています。

3年生の皆さんへ

3年5組 担任 酒井 彩乃

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今皆さんは、希望、不安、後悔、そのほかもあるかも知れませんが・・・どんな気持ちを抱えていますか？今の皆さんと同じ頃、受験に失敗した私には後悔しかありませんでした。そのとき、母に「大学に落ちたのも運命なんだよ。あなたは、その方が良い人生になるんだよ。」と言われ、はっとしました。それ以来、私は特に辛いことがあったとき「これが運命だ」と思うようにしています。運命だから、その結果になった意味や、その困難が自分に訪れた意味が、きっとどこかにある。そしてそれは、自分の人生にプラスになる。そう考えたほうが気持ちも楽になるし、先々が楽しみになる気がします。皆さんにはこれから、楽しいことも辛いこともたくさん経験すると思います。もし、くじけそうになったときは「これも運命かもな」と思って乗り越えてください。そして、皆さんの未来が明るいものになることを心から祈っています。

3年6組の皆さんへ ～学年主任ではなく担任として～

3年6組 担任 丹後 茂

先生という職業についてクラス担任としてつき合ったのは、君たちで19クラス目です。306は、今までのどのクラスよりも話を聞かない、言うことを聞かない、担任をなめたクラスでした。10年前にこのクラスを持っていたら、大声で怒鳴り散らして机の一つも放り投げてただらうなど考えたこともありました。でもその時、気付いたのです。10年前の自分が担任していたら、みんなはこんな風に接してはくれなかっただろうということに。

人と人（担任と生徒）の関係は双方向で影響し合うものです。自分も歳をとり、多少は丸くなったからみんなも気安く接してくれたのでしょうか。良かったのか悪かったのかは分かりませんが、306では自分も肩に力を入れずに過ごすことができました。もちろん適度な緊張感が必要ですが、ありのままの自分で接することのできた306のみんなに感謝です。お互い次のステージでも、素敵な人間関係を作っていきましょう！卒業おめでとう！

3年間ありがとう！

3年7組 担任 伊藤 有美子

卒業おめでとうございます。私の大好きな歌を贈ります。励まし支え合う仲間がいることを歌ったものです。

「夕日に染まる空 見上げてこぼれぬように 明日に進むため 精一杯頑張る

今努力している 胸はって言える？ 自信なくてもいいよ 限界なんてない

いつも傍に居るから どんな時も頼って いいから 頑張りすぎないでね

一人では何も出来ない 大切な仲間 夢追い求め走ろう いつかは叶う 諦めないように いつまでも

今は目に見えないけど いつか分かる時 来るから前に進もう

君の背中見て頑張れるから いつまでも いつまでも」

みなさんも中村高校でこんな仲間ができていたらいいな、と思います。私もみなさんを応援しています。

いつまでも前向きに！

3年8組 担任 佐久間 孝史

3年生のみんな、卒業おめでとう！入学してから、もう卒業まで来てしまいましたね。きっと信じられないスピードだったのではないのでしょうか。中村高校での日々はいかがでしたか？君たちを見ていると、古くさい言い方かもしれませんが「青春を謳歌している」という表現がぴったりのような気がします。パワーが充ち満ちている感じで、僕は毎日君たちから元気をもらって、一緒に3年間過ごしてきました。ぜひこれからも、いつまでも前向きに、がむしゃらに頑張ってください。君たちのその明るさは、これから出会ういろんな人を元気にします。それに、君たち自身の人生もぴかぴかに輝かせることでしょ。何か壁にぶつかっても、いつも前を向いて、明るく笑っていれば何とかできるパワーを君たちは持っています。苦しくなったら、一緒に過ごしてきた仲間や、暖かく支えてくれた先生方を思い出そう。君たちなら大丈夫！これからの君たちの人生が素晴らしいものになることを願っています。

10年後の自分

3年9組 担任 山本 夏輝

3年生のみなさんご卒業おめでとうございます。私事ですが今年28歳になりました。ちょうど高校を卒業して10年目になります。みなさんは10年後どんな大人になっているのでしょうか。少し想像してみてください……。

自分自身は高校の教員という職業で働いています。この夢は中学3年の時に決めました。理由はただ単に昔から高校野球が好きでそれに携わるには、高校の教員になるしかないかなと思ったからです。そんな想いで先生になって6年が経ちました。もちろん仕事でするので大変な事があります。でも野球部で大会に勝利しみんなで校歌を歌ったことや、自分のクラスの生徒が笑顔で卒業していく様子を見ると、この職業を選んで心から良かったと感じることができました。自分の好きなことをして生きていけるのは本当に幸せなことです。みなさんも一度しかない人生、後悔のないよう、何事にも挑戦する気持ちを忘れずにいて下さい。応援しています！！

P T A 大学見学会の報告

平成28年10月25日(火) 保護者・教職員46名が参加

名城大学ナゴヤドーム前キャンパス



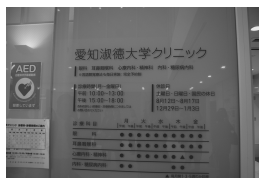
名古屋駅をバスで出発して約40分、名城大学ナゴヤドーム前キャンパスに到着しました。どこを見ても、どの校舎を見ても、今年度開設したばかりであることを感じます。動画とパンフレットで説明を受けました。名城大学は創立90周年を迎える、9学部を擁する総合大学です。ドーム前には現在は外国語学部だけがあります。オールイングリッシュで英語を磨くグローバルプラザや、就職サポートがしっかりしていることは保護者にとっても魅力かもしれません。学食のMU GARDEN TERRACEで昼食をとりました。



愛知淑徳大学長久手キャンパス



副学長の丁寧なあいさつから説明が始まりました。親の世代にとっては女子大のイメージがありましたが、男女共学化してすでに20年が経過しています。星ヶ丘にもキャンパスがありますが、長久手は文学部などの6学部を設置した大きな敷地の大学になっています。学内にクリニックを持っており、学生は治療費が5万円までは免除されるというユニークな制度があります。コミュニティコラボレーションセンターは、社会に貢献できる人材を育成するよう、ボランティアを推進する施設です。



しをつく雨の中での見学でしたが、「大学の今」を知るよい機会になりました。お疲れ様でした。

P T A 名南地区研修会報告

笑う門には福来たる

平成28年度の名南地区P T A研修会が、1月27日(金)瑞穂文化小劇場で開催され、本校から13名が参加しました。今年度は講演とともに、鳴海高校、昭和高校P T Aの活動報告がありました。ここではユーモアセラピストの米津さち子氏による講演「笑って学ぼう！ユーモアコミュニケーション」の要旨を掲載します。

平成の女きみまる、名古屋の上沼恵美子を自称する米津氏は、高校卒業後、衣料品店に勤務し支店長として勤務しました。しかしご自身がパニック障害になってしまい退職、治療の一環としてメイクセラピーを受

けたのをきっかけにメイクセラピストとして、また独自のユーモアをコミュニケーションスキルとして活かし、ユーモアセラピストとして活動を始めました。

氏は笑い笑顔の効果を熱く、楽しく語ります。人間関係の円滑化、心身の健康、老化の予防、認知症患者が楽しそうにコミュニケーションする事例。吉本興業の「なんば花月」で大笑いしたがん患者の免疫力が活性化したという報告もあるそうです。

最後に参加者各自が割り箸を口にはさみ、手鏡を見ながらにっこり。笑顔の練習です。そして口角を上げるために「ウイスキー！」と全員で声を出しました。また担当である瑞陵高校P T A会長との掛け合いが、会場の笑いを誘いました。

